

京都(今日と)いう世界遺産奈良(なら)……！

校長 船田年男

今年も、日本の建造物などの世界遺産登録が話題になっています。イコモスによる「明治日本の産業革命遺産」の登録勧告のことです。一方、京都・奈良は、すでに都市全体、地域全体が世界遺産として登録をされています。3つ指定されています。「古都京都の文化財」・「古都奈良の文化財」・「法隆寺地域の仏教建造物」です。まさにみなさんは世界遺産そのもののまちに行くのです。世界遺産の真っただなかで2泊する修学旅行に行くのです。

今日と(京都)いう世界遺産であるなら(奈良)ば、今日という世界遺産にならないはずはありません。

世界遺産は場所ではなく、きっとみなさんの心のなかの世界遺産なのだと思います。2泊3日の修学旅行期間が、みなさんの人生にとっての世界遺産になるのです。今いっしょにいる仲間とともに過ごす3日間は、世界中どこを探してもない、自分だけの大切な世界で唯一の遺産になるのです。それが今日という世界遺産です。

奈良と京都で仲間とともに目にする歴史という、時間と空間を超えた過去を見つめることが、未来の仲間や自分を育みます。過去は過去ではなく、現在という時間を通じて、やがて未来を創りだしていくことになる材料やエネルギーを提供してくれるのです。

「今日と(京都)いう日を大切にするなら(奈良)、楽しもう修学旅行」のスローガンのとおり、過去が残した遺産から、未来という名前の「楽しみ」を発見してくる修学旅行にしましょう。